

2026年12月期 上期決算説明資料

2026年8月14日



アサヒグループホールディングス株式会社



目次（リンク）

1. [エグゼクティブ・サマリー](#)
2. [プレミアム戦略の進捗](#)
3. [グローバルブランド](#)
4. [日本・東アジア：総括と方針](#)
5. [日本（酒類）：主要トピックス](#)
6. [欧州：総括と方針](#)
7. [欧州：主要トピックス](#)
8. [アジアパシフィック：総括と方針](#)
9. [アジアパシフィック：主要トピックス](#)
10. [＜参考＞EABL社の業績概況](#)

<2026年上期決算・年間予想の概要>

11. [決算ハイライト（売上収益・事業利益）](#)
12. [営業利益・親会社の所有者に帰属する中間利益](#)
13. [財政状態計算書・CF計算書・各種指標](#)
14. [日本・東アジア](#)
15. [欧州](#)
16. [アジアパシフィック](#)

<参考資料>

17. [為替影響（上期実績）](#)
18. [為替影響（年間予想）](#)
19. [日本・東アジア（日本酒類：売上収益・販売数量）](#)
20. [日本・東アジア（日本飲料：販売数量）](#)
21. [四半期業績](#)

◆ 上期の総括

- 事業利益（為替一定）は、システム障害の影響が残った日本・東アジアの減収に加えて、欧州やアジアパシフィックの需要減少の影響などにより、トータルで8.5%の減益
- 但し、主に日本・東アジアにおける固定費全般の抑制などにより、トータルで計画を上回る進捗
- 日本の復旧・復興に向けた販売間口の回復、グローバルブランドやBAC拡大など成長戦略を推進

◆ 今後の方針

- リージョン毎の進捗に強弱があり、下期はマーケティング強化や中東情勢に伴うコストアップが見込まれるが、グループトータルで年初計画の達成を目指す
- 日本の酒税改正を捉えたビール強化や欧州・アジアパシフィックにおけるプレミアム化への投資継続、グループ全体の収益構造改革などにより、来年以降の利益成長軌道を高める
- 東アフリカ事業のクロージング、PMI※を推進するとともに、財務健全性の確保を前提に、主要指標のガイドライン達成に向けた施策を着実に実行する

● ビール類+ビールテイスト飲料カテゴリー2026年上期実績（前年比）

	日本・東アジア	欧州	アジア パシフィック	3地域計
単価上昇率 (酒税抜き)	+2.8%	+2.8%	+0.2%	+2.5%
売上収益	△1.8%	±0.0%	+1.9%	△0.2%
販売数量	△4.5%	△2.8%	+1.7%	△2.6%

※「日本・東アジア」は日本、「アジアパシフィック」はオセアニアのカテゴリー実績

グローバル ブランド (数量前年比)	<Asahi Super Dry>	<Peroni Nastro Azzurro>	BAC (数量前年比)	<3地域計>
	+31%	+7%		△1%

※母国市場を除く販売数量ベース

※Beer Adjacent Categories：ノンアルコール飲料、RTD、成人向け清涼飲料など、ビール隣接カテゴリー

● Asahi Super Dry (ASD)

前年比+31%の成長

中国が牽引し、韓国、UK、米国でも伸長



<新グローバルコミュニケーション戦略の展開>

- 「Seek What Is Unique」をコアメッセージとして展開
- 唯一無二の辛口の価値、日本発プレミアムビールブランドとしての品質や革新性を訴求

<主要施策>

- ・ City Football Groupとの提携
- ・ Rugby World Cupとの提携
- ・ ASD 0.0%や生ジョッキ缶のエリア拡大

● Peroni Nastro Azzurro (PNA)

前年比+7%の成長

UKを中心に、ドイツやハンガリーでも伸長



<新グローバルコミュニケーション戦略の展開>

- UKを中心に「Only Peroni」キャンペーンを展開
- イタリアを象徴するプレミアムブランドとしての価値を強化し、次なる成長フェーズに向けた戦略を推進

<主要施策>

- ・ Scuderia Ferrariとの提携
- ・ PNA 0.0%のフレーバー商品発売
- ・ 「House of Peroni」の体験型プロモーションの展開

(億円)	上期	増減	前年比(%)	通期予想	増減	前年比(%)
売上収益	6,351	△ 140	△ 2.2%	14,228	956	7.2%
事業利益	504	△ 64	△ 11.2%	1,170	54	4.8%

<上期の総括>

- システム障害の影響により減益となったが、固定費の抑制などにより計画を上回る進捗
- 各事業で売上回復に向けた広告販促施策や価格改定を含むミックス改善を推進

<今後の方針>

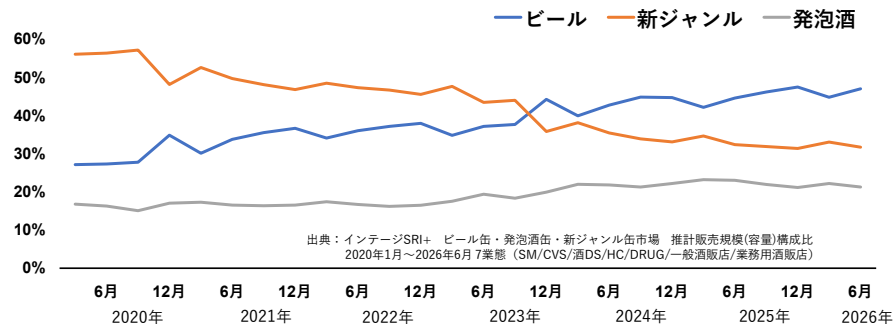
- 広告販促投資は継続しつつ、中東情勢に伴うコスト増を吸収し、年間計画の着実な達成を目指す
- 2027年には2024年を上回る利益水準を達成し、更なる利益成長軌道への回帰を図る



日本（酒類）：主要トピックス

● 継続するビール回帰の流れ

<ビール類缶市場 カテゴリー別構成比>



● BACカテゴリーの強化

・高付加価値商品を核に、持続的な成長と収益性の向上を図る



(2026年上期)
販売数量

+11%

『アサヒ ゼロ』



「未来のレモンソーダ
檸檬コーラソーダ」
-26年7月 限定発売



「ニッカフロンティア
ハイボール」
-26年7月 限定発売

● 酒税改正に向けたビールカテゴリーの強化

<SDブランド群の刷新>



- 酒税改正に向けてSDブランド群を一斉に刷新「冷え」の価値の最大化を図る

<ポートフォリオ拡充>

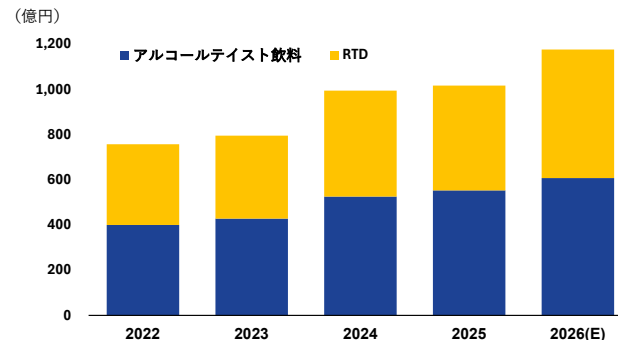


「アサヒ生ビール
生ジョッキ缶」
-26年8月 限定発売



「ペローニナストロ
アズーロ（缶）」
-26年8月 通年販売開始

<当社RTD+アルコールテイスト飲料の成長>



2026年計画
売上金額

RTD
+22%

アルコール
テイスト飲料
+10%

(億円)	上期	増減	前年比(%)	通期予想	増減	前年比(%)
売上収益	4,053	1	0.0%	8,731	484	6.3%
事業利益	512	△ 29	△ 6.1%	1,218	11	1.0%

※為替一定の前年増減・前年比は、当年の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算し算出

※為替一定の予想比は、当年の外貨金額を、予想の為替レートで円換算し算出

<上期の総括>

- ポーランドやルーマニアにおける需要減やコストアップにより減益となり、計画を下回る進捗
- プレミアム戦略の継続による単価向上※、コストアップ抑制に向けた収益構造改革の推進

※カテゴリー別単価上昇率：プレミアム +2%、メインストリーム +2%、合計 +3%

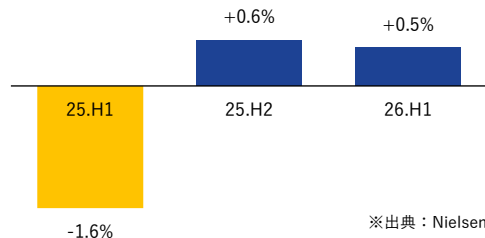
<今後の方針>

- 最盛期に向けた需要活性化や収益構造改革の加速などにより、年間計画の達成を目指す
- グローバルブランドやビールテイスト飲料への成長投資を継続し、中長期的な成長基盤を強化



● 当社ポーランドの販売数量シェア推移

- ・ 昨年同期以降、ブランド投資の強化によりシェアは回復傾向
- ・ 段階的にプレミアム化への回帰を図る



※出典：Nielsen



● ビールテイスト飲料の成長率（2026年上期）

（前年比）

販売数量 **+4%**

売上収益 **+7%**

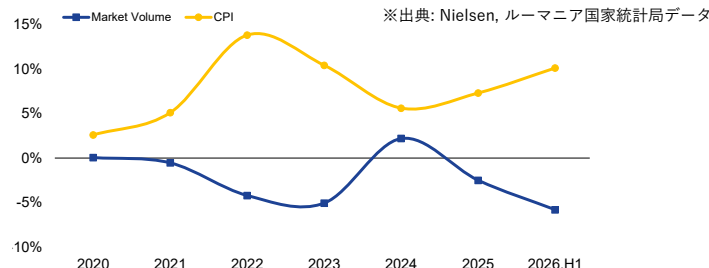


（BACの主な取り組み）

- ・ フレーバードビールテイスト飲料の展開を強化
- ・ 米国にて『ZEITAKU SHIBORI』を展開

● ルーマニア市場の数量成長率／CPI 推移

- ・ 高インフレの環境下、数量のボラティリティが高い市場
- ・ 回復局面を見据え、競争優位性を更に強化していく



● マージン向上に向けた収益構造改革

効率化目標（2025-2027年）：EUR 100M以上

（2029年までの効率化効果：EUR 150M以上）

<2026年の主な施策>

- バリューエンジニアリングの推進
- サプライチェーン・オペレーションの最適化
- 組織および人員配置の最適化 など

アジアパシフィック：総括と方針

(億円)	上期	増減	前年比(%)	通期予想	増減	前年比(%)
売上収益	4,120	24	0.7%	9,144	190	2.4%
事業利益	441	△ 1	△ 0.2%	1,289	57	5.3%

※前年比は、当年の外貨金額を前年同期の為替レートで円換算し算出

<上期の総括>

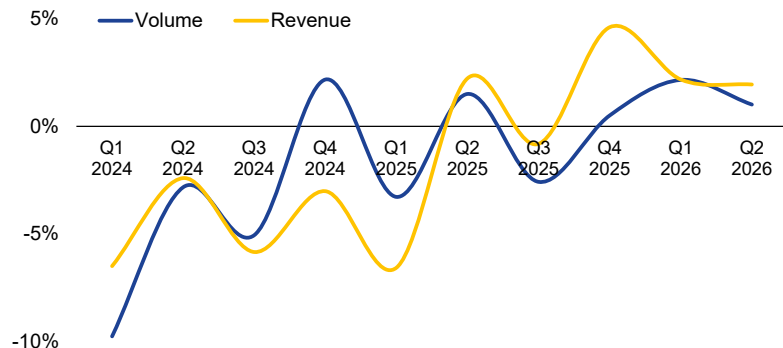
- オセアニアの厳しい消費環境により前年並みの利益水準となり、計画を下回る進捗
- コンテンポラリービールやRTD、エナジードリンクなど成長領域でのブランド成長が継続

<今後の方針>

- 適切な価格戦略や収益構造改革の推進などにより挽回を図り、年間計画の達成を目指す
- マルチビバレッジ戦略に基づく成長カテゴリーの育成を加速し、競争優位性を更に高める



● 当社の豪州ビール推移



● 豪州RTD数量成長率（2026年上期）

RTD合計 +1桁台半ば

(Hard Rated + 10%台後半)

2025年 RTD新商品ランキング
「Hard Rated」 2 フレーバー

1位・2位を獲得※



● 豪州コンテンポラリー・ビール数量成長率

コンテンポラリー・ビール合計 (2026年上期)

+1桁台半ば

(Carlton Dry + 20%台)



● マージン向上に向けた収益構造改革

効率化目標（2025-2027年）：AUD 70M以上

<2026年の主な施策>

- SCM高度化によるサプライチェーンの最適化・効率化
- 物流体制の見直しによるコスト効率化
- 組織再編による資源配分の最適化と効率化

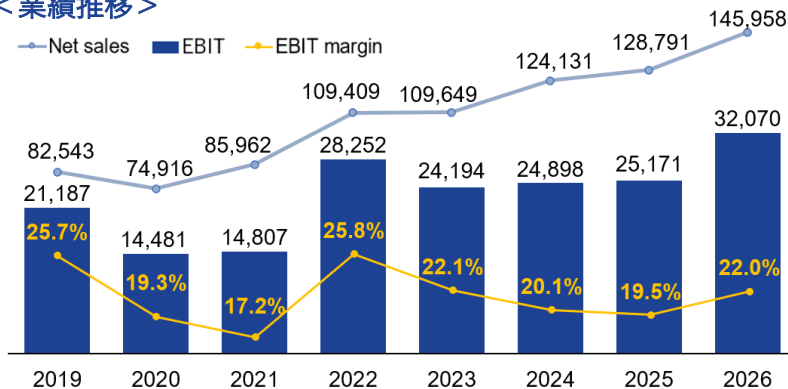
<参考> EABL社の業績概況

● EABL社の業績推移

単位：百万KES	2023年 6月期実績	2024年 6月期実績	2025年 6月期実績	2026年 6月期実績
純売上高 (Net Sales)	109,649 (1,317 億円)	124,131 (1,490 億円)	128,791 (1,546 億円)	145,958 (1,752億円)
営業利益 (EBIT)	24,194 (291 億円)	24,898 (299 億円)	25,171 (302 億円)	32,070 (358 億円)
EBITDA	31,287 (376 億円)	33,098 (397 億円)	33,336 (400 億円)	-

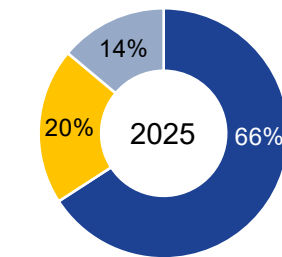
※ケニア・シリング=1.20円で換算（2025年12月16日時点）

<業績推移>



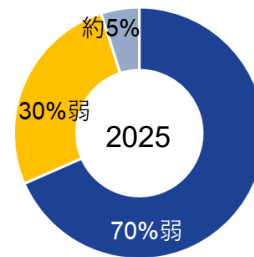
※出典：EABL Annual Report, EABL FY2026 Financial Results Press Ad

<国別売上構成比>



■ ケニア ■ ウガンダ ■ タンザニア ■ ビール ■ スピリッツ ■ RTD

<カテゴリー別売上構成比>



- 高い消費需要や豊富な商品ポートフォリオにより純売上高は安定的な成長を実現
- コロナ禍やコストインフレの影響を受けるがトップライン成長などにより高い利益創出力を維持
- 2026年年間業績は好調に進捗

販売数量 **+13%**、純売上高 **+13%**、EBIT **+27%**

※EABL社は6月期決算のため2025年7月-2026年6月（前年同期比）ベース

2026年上期決算・年間予想の概要

決算ハイライト（売上収益・事業利益）

(億円)	2026年 上期	(為替一定)		2026年 通期予想	(為替一定)	
		増減	前年比(%)		増減	前年比(%)
日本・東アジア	6,351	△ 140	△ 2.2%	14,228	956	7.2%
欧州	4,053	1	0.0%	8,731	484	6.3%
アジアパシフィック	4,120	24	0.7%	9,144	190	2.4%
その他	172	43	34.7%	279	22	8.3%
調整額（全社・消去）	△ 56	△ 8	-	△ 182	△ 76	-
売 上 収 益	14,640	△ 80	△ 0.6%	32,200	1,576	5.4%
日本・東アジア	504	△ 64	△ 11.2%	1,170	54	4.8%
欧州	512	△ 29	△ 6.1%	1,218	11	1.0%
アジアパシフィック	441	△ 1	△ 0.2%	1,289	57	5.3%
その他事業	31	8	35.6%	19	△ 20	△ 48.8%
調整額（全社・消去）	△ 154	△ 8	-	△ 348	△ 17	-
無形資産償却費	△ 220	△ 0	-	△ 439	2	-
事 業 利 益	1,114	△ 93	△ 8.5%	2,910	85	3.2%

◆上期実績（為替一定）

<売上収益>

- アジアパシフィックは増収だが、システム障害の影響を受けた日本・東アジアが減収となり、トータルで前年比△0.6%
- 需要減少などにより欧州を中心に想定を下回り、トータルで計画を下回る進捗

<事業利益>

- アジアパシフィックは前年並みだが、販売数量の減少などにより日本・東アジアと欧州が減益となり、トータルで前年比△8.5%
- 需要が軟化した欧州とアジアパシフィックは想定を下回ったが、コストの抑制などにより日本・東アジアが上回り、トータルでは計画を上回る進捗

営業利益・親会社の所有者に帰属する中間利益

(億円)	2026年 上期	(為替影響込み)		2026年 通期予想	(為替影響込み)	
		増減	前年比(%)		増減	前年比(%)
売上収益	14,640	1,044	7.7%	32,200	3,253	11.2%
事業利益	1,114	17	1.5%	2,910	280	10.6%
事業利益からの調整項目 ※1	328	502	-	60	831	-
固定資産除売却損益	341	344	-	-	-	-
事業統合関連費用	△ 31	27	-	-	-	-
減損損失	-	101	-	-	-	-
その他	17	29	-	-	-	-
営業利益	1,441	519	56.2%	2,970	1,111	59.8%
金融収支	△ 89	△ 21	-	△ 267	△ 130	-
持分法投資損益	0	10	-	11	11	-
その他	35	7	24.4%	26	△ 45	△ 63.9%
税引前中間利益	1,388	514	58.8%	2,740	947	52.8%
法人所得税費用	△ 387	△ 106	-	△ 784	△ 219	-
中間利益	1,001	408	68.8%	1,956	728	59.3%
親会社の所有者に帰属する中間利益	991	404	68.8%	1,940	724	59.6%
非支配持分に帰属する中間利益	10	4	68.8%	16	4	33.6%
調整後親会社の所有者に帰属する中間利益 ※2	730	55	8.2%	1,680	210	14.3%

※1 「事業利益からの調整項目」の内訳は、実績のみの開示に変更。

※2 親会社の所有者に帰属する当期利益から事業ポートフォリオ再構築及び減損損失など一時的な特殊要因を控除したもの。

◆上期実績（為替影響込み）

< 営業利益 >

- アサヒビール博多工場の土地売却益の発生、事業統合関連費用の減少、前年の減損損失の反動などにより、前年比+56.2%

< 親会社の所有者に帰属する中間利益 >

- 金融費用や法人所得税費用が増加したが、営業利益の増益により、前年比+68.8%
- 営業利益、調整後親会社の所有者に帰属する中間利益ともに計画を上回る進捗

(億円)	2026年 上期	増減	前期末比(%)	2026年 通期予想	増減	前期末比(%)
資 産 合 計	62,759	2,475	4.1%	60,370	86	0.1%
資 本 合 計	31,937	1,851	6.2%	32,470	2,385	7.9%
金 融 債 務 残 高※1	16,885	443	2.7%	13,700	△ 2,742	△ 16.7%
Net DEレシオ ※2	-	-	-	0.41	△ 0.09	-
Net Debt / EBITDA (倍) ※2	-	-	-	2.91	△ 0.79	-
(参考) EBITDA	1,848	82	4.7%	4,524	502	12.5%

※1 前期末比の増減内訳：金融債務の借入・返済額+413億円、円安による外貨建て金融債務の為替換算等+20億円など

営 業 活 動 CF	1,315	1,340	-	4,280	3,232	-
投 資 活 動 CF	△ 394	819	-	△ 1,490	515	-
財 務 活 動 CF	△ 135	△ 1,062	-	△ 3,800	△ 5,059	-
フ リ ー CF	955	1,682	-	2,790	3,224	-
EPS (円)	-	-	-	129.7	48.4	-
ROIC	-	-	-	6.6%	0.5%	-
ROE	-	-	-	6.2%	1.9%	-
DOE	-	-	-	2.7%	0.0%	-
一株当たり配当金 (円)	26.0	-	-	57.0	5.0	-
配当性向	-	-	-	43.9%	△ 20.1%	-

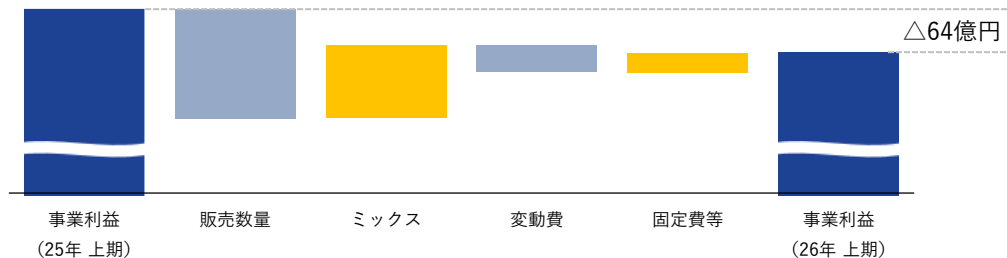
◆上期実績（為替影響込み）

< 上期実績 >

- BS：資産合計は、主に豪ドル高によるのれんの増加などにより、前期末比+2,475億円
- BS：金融債務は、システム障害下で調達した短期性資金の返済を進めたが、東アフリカ事業買収関連資金の借入れを一部開始したことなどにより、前期末比+443億円の増加
- CF・配当：955億円のFCFを創出し、中間配当は、前年同額の1株26円

(億円)	2026年 上期	増減	前年比(%)	2026年 通期予想	増減	前年比(%)
売上収益	6,351	△ 140	△ 2.2%	14,228	956	7.2%
事業利益	504	△ 64	△ 11.2%	1,170	54	4.8%
事業別売上収益						
酒類事業	3,637	△ 111	△ 3.0%	8,407	546	6.9%
飲料事業	1,750	△ 152	△ 8.0%	3,887	253	7.0%
食品事業	756	76	11.1%	1,600	164	11.4%

<利益増減要因：上期実績>



◆上期実績（為替一定）

<売上収益>

- 買収効果を含めた食品、東アジアは増収だが、主にシステム障害の影響により酒類、飲料が減収となり、トータルで前年比△2.2%
- 食品・東アジアは想定を上回ったが、酒類・飲料が想定を下回り、トータルでは計画を若干下回る進捗

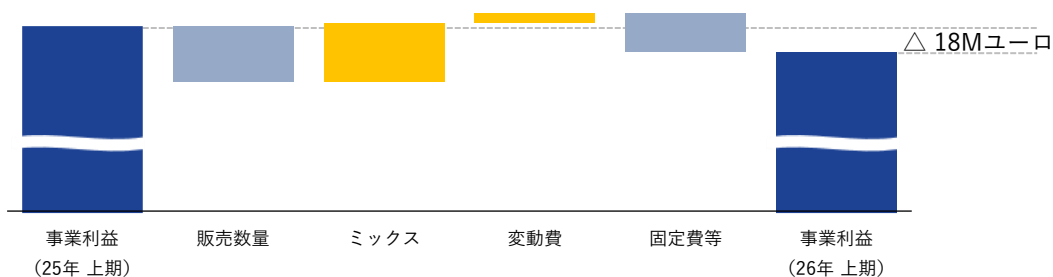
<事業利益>

- 価格改定などによるミックス改善に加え、固定費は減少したが、販売数量の減少、変動費の増加により、トータルでは前年比△11.2%
- 販売数量・ミックス・変動費は想定を下回ったが、広告販促費の投資時期変更や地域統括会社のコスト効率化などで固定費を抑制し、トータルでは計画を上回る進捗

(百万ユーロ)	2026年 上期	増減	前年比(%)	2026年 通期予想	増減	前年比(%)
売上収益	2,196	0	0.0%	4,745	286	6.3%
事業利益	277	△ 18	△ 6.1%	662	6	1.0%
酒税抜き売上収益	1,803	△ 11	△ 0.6%	3,874	199	5.3%

※以下の要因により、2026年上期における増減、前年比には差異が生じる
 ・現地通貨をユーロ換算する際の前提となる為替レートが異なる
 ・前年比は前年レート比較により、為替影響を除いて算出

<利益増減要因：上期実績>



◆上期実績（為替一定）

<売上収益>

- 主にポーランドやルーマニアなどの需要減少の影響を受けたが、単価向上効果などにより、前年比+0.0%
- ポーランドやルーマニアの数量減少などにより、計画を下回る進捗

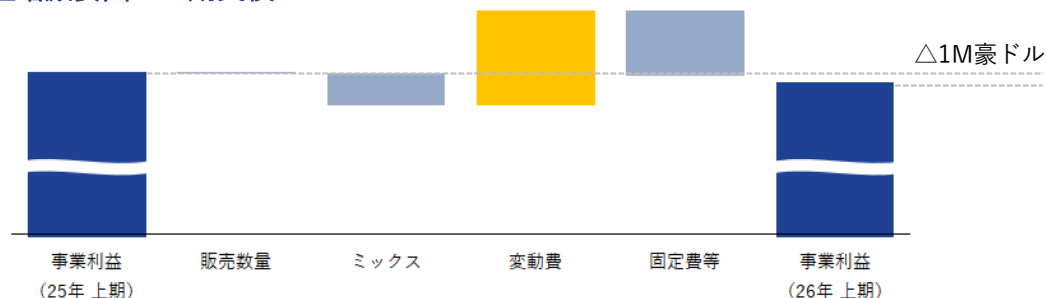
<事業利益>

- ミックスの改善や変動費の抑制を進めたが、数量減少や固定費等の増加などにより、前年比△6.1%
- 変動費・固定費等は抑制したが、数量とミックスが想定を下回り、計画を下回る進捗

(百万豪ドル)	2026年 上期	増減	前年比(%)	2026年 通期予想	増減	前年比(%)
売上収益	3,706	26	0.7%	8,313	197	2.4%
事業利益	397	△ 1	△ 0.2%	1,172	59	5.3%
酒税抜き売上収益	2,519	△ 13	△ 0.5%	5,760	231	4.2%
オセアニア合計	2,171	△ 7	△ 0.3%	5,010	201	4.2%
(酒類)	1,404	18	1.3%	3,276	129	4.1%
(飲料)	768	△ 26	△ 3.2%	1,734	72	4.3%

※ 酒税抜き売上収益は、豪州とNZにおけるコンテナデポジット（保証金）を除く

<利益増減要因：上期実績>



◆上期実績（為替一定）

<売上収益>

- 主にオセアニア飲料が減収だが、オセアニア酒類は酒税改正に伴う仮需の発生などにより増収となり、前年比+0.7%
- オセアニア酒類・飲料における需要低迷などにより、計画を若干下回る進捗

<事業利益>

- 変動費は製造効率の改善などにより減少したが、ミックスの悪化や固定費等の増加により、前年比△0.2%
- 固定費等は抑制したが、ミックスが想定を下回ったことなどにより、計画を下回る進捗

参考資料

為替影響（上期実績）

（為替影響込み）

（為替一定）

< 主要通貨為替レート推移 >

（億円）	2026年 上期	前年	増減	前年比（%）	為替影響	増減	前年比（%）
日本・東アジア	6,351	6,491	△ 140	△ 2.2%	-	△ 140	△ 2.2%
欧州	4,053	3,564	489	13.7%	488	1	0.0%
アジアパシフィック	4,120	3,462	658	19.0%	634	24	0.7%
その他	172	124	48	38.8%	5	43	34.7%
調整額（全社・消去）	△ 56	△ 46	△ 11	-	△ 3	△ 8	-
売 上 収 益	14,640	13,596	1,044	7.7%	1,124	△ 80	△ 0.6%
日本・東アジア	504	568	△ 64	△ 11.2%	-	△ 64	△ 11.2%
欧州	512	471	41	8.7%	70	△ 29	△ 6.1%
アジアパシフィック	441	374	67	18.0%	68	△ 1	△ 0.2%
その他事業	31	23	8	34.5%	△ 0	8	35.6%
調整額（全社・消去）	△ 154	△ 147	△ 7	-	0	△ 8	-
無形資産償却費	△ 220	△ 192	△ 28	-	△ 28	△ 0	-
事 業 利 益	1,114	1,097	17	1.5%	110	△ 93	△ 8.5%

（円）	2026年 上期	2025年 上期
ユーロ	184.6	162.3
豪ドル	111.2	94.1

為替影響（年間予想）

(億円)	2026年 通期予想	前年	(為替影響込み)		為替影響	(為替一定)	
			増減	前年比(%)		増減	前年比(%)
日本・東アジア	14,228	13,272	956	7.2%	-	956	7.2%
欧州	8,731	7,682	1,049	13.7%	565	484	6.3%
アジアパシフィック	9,144	7,832	1,312	16.8%	1,122	190	2.4%
その他	279	267	12	4.5%	△ 10	22	8.3%
調整額（全社・消去）	△ 182	△ 106	△ 76	-	-	△ 76	-
売 上 収 益	32,200	28,947	3,253	11.2%	1,677	1,576	5.4%
日本・東アジア	1,170	1,116	54	4.8%	-	54	4.8%
欧州	1,218	1,131	88	7.8%	77	11	1.0%
アジアパシフィック	1,289	1,075	215	20.0%	158	57	5.3%
その他事業	19	42	△ 22	△ 53.5%	△ 2	△ 20	△ 48.8%
調整額（全社・消去）	△ 348	△ 331	△ 17	-	-	△ 17	-
無形資産償却費	△ 439	△ 403	△ 37	-	△ 38	2	-
事 業 利 益	2,910	2,630	280	10.6%	195	85	3.2%

< 主要通貨為替レート推移 >

(円)	2026年 予想	2025年 実績
ユーロ	184.0	169.2
豪ドル	110.0	96.5

< 2026年主要通貨為替感応度 >

(億円)	売上収益	事業利益
ユーロ	± 47	± 7
豪ドル	± 83	± 12

※ 1円変動による影響額（通期）
 ※ 無形資産償却額に対する為替影響は含んでいません。
 ※ 為替影響 = 現地通貨業績の円換算における影響
 （貿易為替影響除く）

日本・東アジア（日本酒類：売上収益・販売数量）

(億円)						
※リポート控除前	2026年 上期	増減	前年比(%)	2026年 通期予想	増減	前年比(%)
ビール類	2,576	△ 37	△ 1.4%	5,950	273	4.8%
洋酒	352	△ 5	△ 1.4%	784	90	13.0%
RTD	217	△ 38	△ 14.8%	569	105	22.6%
ワイン	213	3	1.2%	471	48	11.4%
焼酎	74	△ 19	△ 20.2%	167	△ 3	△ 1.9%
アルコールテイスト飲料	241	△ 12	△ 4.7%	608	55	9.9%

(万箱)	2026年 上期	増減	前年比(%)	2026年 通期予想	増減	前年比(%)
スーパードライ	3,011	△ 54	△ 1.8%	7,102	184	2.7%
スタイルフリー	500	△ 43	△ 7.9%	1,093	△ 42	△ 3.7%
クリアアサヒ	480	△ 67	△ 12.3%	998	△ 118	△ 10.6%

(前年比)	2026年 上期		
※数量ベース	(瓶)	(缶)	(樽)
ビール類	△6%	△4%	△4%
ビール	△6%	+1%	△4%

(前年比)	【参考】ビール類市場	
※数量ベース	2026年 上期	通期予想
ビール類	△3~4%	△3%程度
ビール	+0~1%	前年並み
発泡酒+新ジャンル	△8~9%	△7~8%

日本・東アジア（日本飲料：販売数量）

(万箱)	2026年 上期	増減	前年比(%)	2026年 通期予想	増減	前年比(%)
販売数量	10,778	△ 1,368	△ 11.3%	23,754	463	2.0%
三ツ矢	1,541	△ 244	△ 13.7%	3,523	131	3.9%
ウィルキンソン	1,428	△ 100	△ 6.6%	3,148	96	3.2%
カルピス	1,379	△ 217	△ 13.6%	3,124	97	3.2%
ワンダ	1,024	△ 278	△ 21.3%	2,192	△ 166	△ 7.0%
十六茶	787	△ 197	△ 20.0%	1,802	△ 14	△ 0.8%
おいしい水	816	△ 135	△ 14.2%	1,906	73	4.0%

(前年比)	容器別
※数量ベース	2026年 上期
缶	△9.8%
PET合計	△11.6%
PET大型	△20.9%
PET小型	△8.3%

(前年比)	【参考】 飲料市場	
※数量ベース	2026年 上期	2026年 通期予想
合計	△2%程度	△1%程度

四半期業績

(億円)	2026年 Q1	(為替一定)		2026年 Q2	増減	前年比(%)	2026年 上期	(為替一定)	
		増減	前年比(%)					増減	前年比(%)
日本・東アジア	2,797	△ 288	△ 9.3%	3,554	148	4.3%	6,351	△ 140	△ 2.2%
欧州	1,548	△ 33	△ 2.4%	2,505	34	1.6%	4,053	1	0.0%
アジアパシフィック	2,071	27	1.5%	2,049	△ 3	△ 0.2%	4,120	24	0.7%
その他	83	23	38.8%	89	20	31.0%	172	43	34.7%
調整額（全社・消去）	△ 27	△ 5	-	△ 29	△ 3	-	△ 56	△ 8	-
売 上 収 益	6,471	△ 277	△ 4.4%	8,168	197	2.7%	14,640	△ 80	△ 0.6%
日本・東アジア	213	△ 60	△ 22.1%	291	△ 3	△ 1.2%	504	△ 64	△ 11.2%
欧州	82	△ 10	△ 12.5%	430	△ 19	△ 4.8%	512	△ 29	△ 6.1%
アジアパシフィック	220	10	5.3%	221	△ 10	△ 5.5%	441	△ 1	△ 0.2%
その他事業	15	5	44.1%	16	3	28.4%	31	8	35.6%
調整額（全社・消去）	△ 70	1	-	△ 84	△ 9	-	△ 154	△ 8	-
無形資産償却費	△ 109	0	-	△ 111	△ 1	-	△ 220	△ 0	-
事 業 利 益	351	△ 54	△ 14.3%	763	△ 39	△ 5.4%	1,114	△ 93	△ 8.5%

※第1四半期および上半期の前年増減・前年比は、当年の外貨金額を、前年第1四半期および上半期の為替レートで円換算し算出。
第2四半期は、第1四半期と上半期の差し引きで算出。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。